

河崎秋子と 『ともぐい』

第170回直木賞は別海町出身の河崎秋子『ともぐい』が受賞となった。
本講演では作者との出会いから、その文学の魅力について作品に即して考察したい。

令和6年 6月27日(木)

時間 19:00~21:00 (18:30~受付開始)

対象者 一般成人 (高校生参加の場合は保護者同伴)

受講料 1,000円 (当日会場にてお支払いください)

ナカシベツ大学
年間受講(全8回)
5,000円

定員 50名程度 (要事前申込)

会場 中標津町総合文化会館 コミュニティホール
(〒086-1002 標津郡中標津町東2条南3丁目1番地1)

申込方法 中標津町総合文化会館しるべっと

①窓口申込 ②電話申込(☎0153-73-1131) ③WEB申込 >>>>>>



講師



Motoari Odajima

小田島 本有 氏

釧路工業高等専門学校名誉教授
文芸評論家

1957年札幌市生まれ。北大文学部卒、同大学院文学研究科修士課程修了。1989年釧路高専に着任、2023年定年退職。釧路市内を拠点に文学講座、読書会、朗読会などの活動を展開。著書に『釧路から～国語教師のメッセージ～』(釧路新書、2007)、『三浦綾子論 その現代的意義』(柏艸舎、2022)などがある。現在、北海道新聞で「道内文学 創作・評論」(2021・7～)を隔月で発表。今年6月3日から釧路新聞で「文学散歩」を連載開始。

受講生募集